

秋田美大付高等学院作品展
発想豊かな力作並ぶ
9日まで、県立美術館



桜の原木を使った椅子
と、制作した小助川さん

卒業制作と1、2年生の実習作品。5日のギャラリートークでは、3年生の8人が自分の作品に込めた思いや、制作する上で体験した苦勞を語った。

学長賞に選ばれた木材工芸コースの小助川葵さんは、桜の原木を使った椅子を制作。幹をくりぬいたり、表面をやすりで磨いたりする作業に苦戦したという。小助川さんは「加工された木材には出せない、原木のエネルギーを表現しようと思った。作品を見た人に木の生命力を感じてもらいたい」と語った。

会場を訪れた同校の卒業生で、秋田市の会社に勤務する鈴木郁洋さん(19)は「在校生たちの豊かな発想に感心し、刺激をもらった」と話した。入場無料。午前10時～午後6時(最終日は午後5時)。

(加藤龍太郎)

秋田公立美術大学付属高等学院(秋田市新屋)の生徒作品展「明日のクリエイターたち」が9日まで、秋田市の県立美術館で開かれている。金

会場に並ぶのは、3年生の